



装備の知識について



リヤ・ビュー・
アウトサイド・ミラー

エンジン・フード

ヘッド・ランプ

フロント・ターン・
シグナル・ランプ
パーキング・ランプ
スモール・ランプ
(車巾灯)



ドア・アウトサイド・
ハンドル

シグナル・ランプ
サイド・ターン・



トランク・リッド

反射鏡

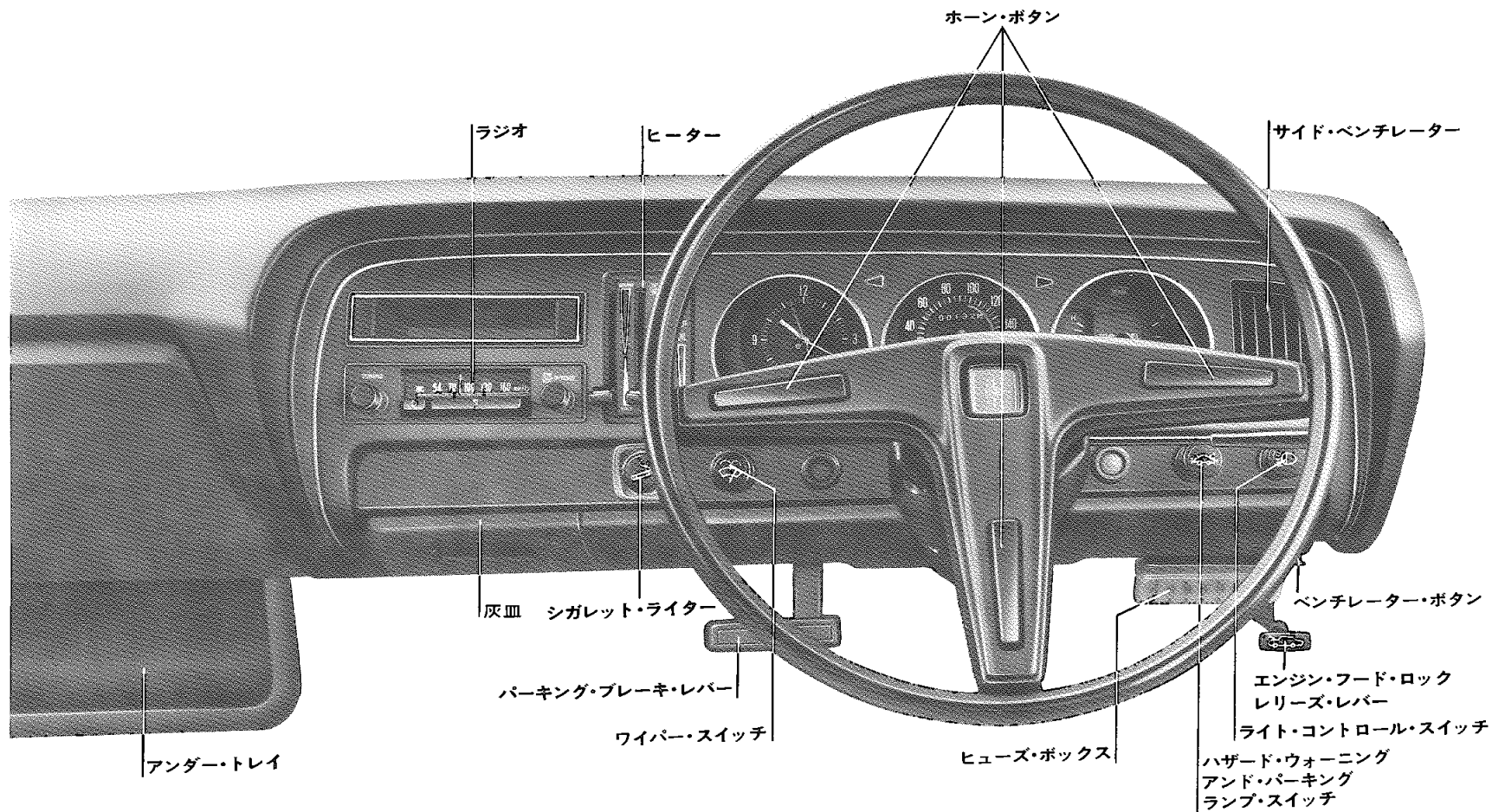
テール & パーキング・ランプ

ターン・シグナル・ランプ

ストップ & テール・ランプ

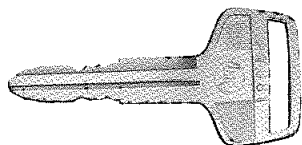
バック・ランプ

ナンバー・プレート・ランプ



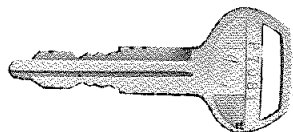
ご乗車の前に

■キーの確認をしましょう



マスター・キー

(すべてのキーシリンダーに使用)



サブ・キー

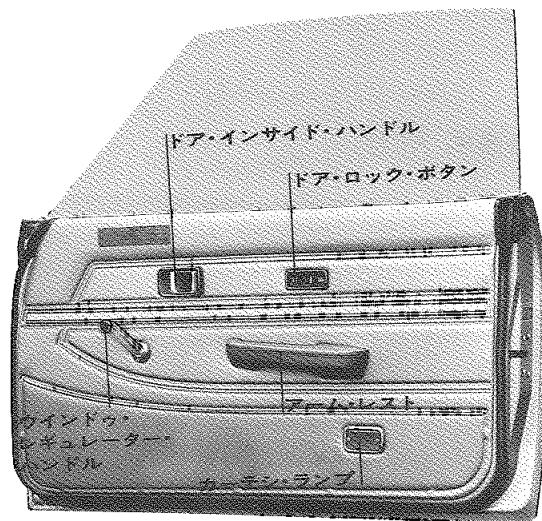
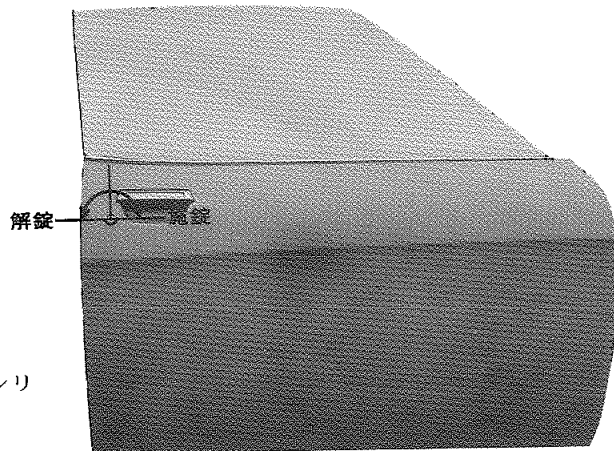
(トランクとグローブ・ボックス以外のキーシリンダーに使用)

キー・ナンバーをひかえておきましょう。

サブ・キーはトランクとかグローブ・ボックスに貴重品を入れたままキーをつけて車を預けるときなどにお使いください。

万一、キーを紛失されたときは、取り扱い店にご相談ください。

■ドアについて



■ドアを開けるときは

外側から……

ドア・アウトサイド・ハンドルを持ち上げます。

内側から……

ドア・インサイド・レバーを手前にひきます。

[ドアをひらくときは]

必ず後方確認をしましょう。

いきなりあけると後続車にぶつかり危険です。

ドアを閉じるときは

シートにすわったらドアを確実にしめましょう。

[ドアを閉じるときは]

確実にしめてドア・ロックをしましょう。

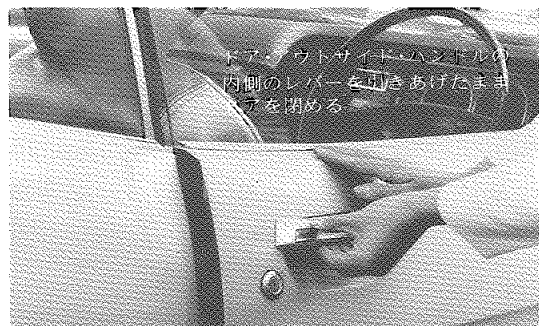
半ドアの状態では、運転中ドアの開く恐れがあり危険です。

ドアをロックするときは

車外からキーを使用するとき

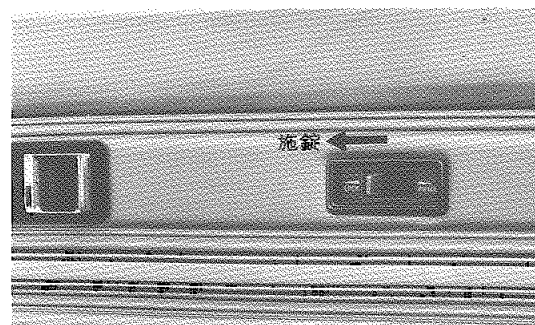
〈前項のドアの写真参照〉

車外からキーを使用しないとき

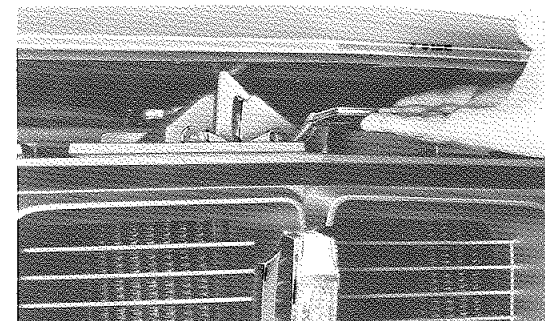


この時、キーを車内に置き忘れないようご注意ください。

車内からロックするとき



■エンジン・フードをあけるには

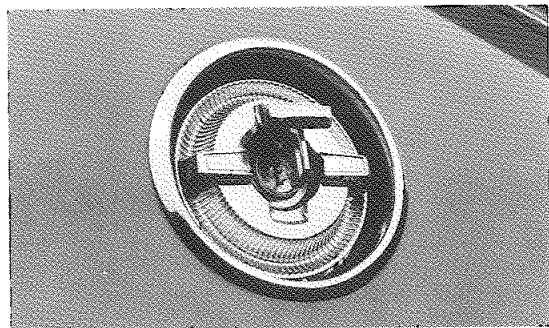
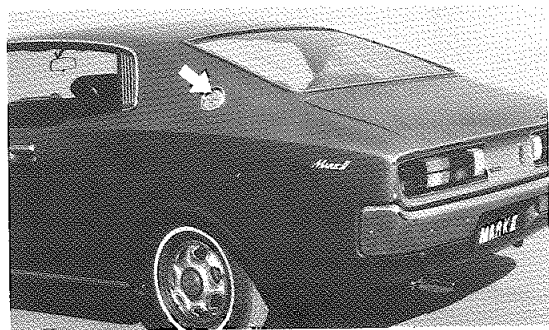


- ①インストルメント・パネル右下のノブをひき出します。
- ②エンジン・フード下のすき間に手を入れセーフティ・ラッチを上げエンジン・フードをいっぱい開けます。
- ③閉じるときは、フードの前端を押えつけてロックします。

〈注意〉

フードが一段だけロックした半じまりの状態では走行しないでください。

■ガソリンを補給するには



補給口は、左リヤ・フェンダー部にあります。
キャップにはロックがついています。キーをOFF
にしてから取りはずします。

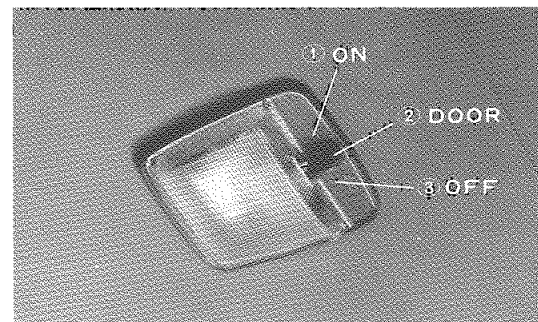
使用ガソリンはレギュラー・ガソリン

■トランクを開けるには



キーをさし込み、右にまわしてください。
閉じるときは、トランク・リッドをおろし、上か
ら手で押えつけます。

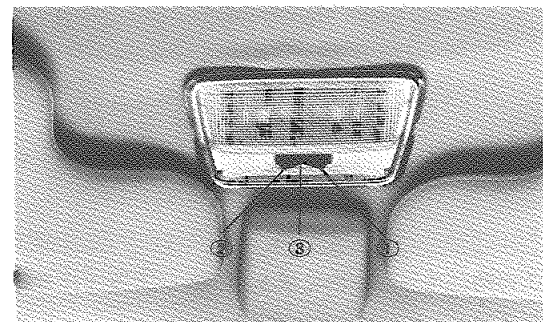
■ルーム・ランプとドアの関係は



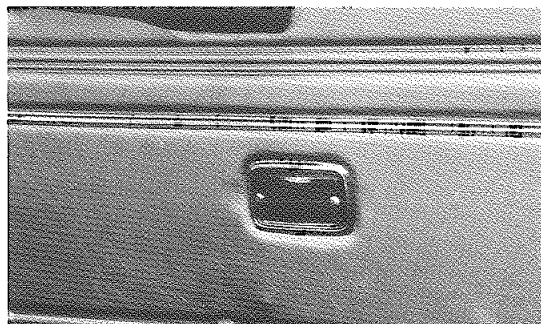
ルーム・ランプ・スイッチは3段になっています。

- ① O N………ドアの開閉に関係なく点灯
- ② D O O R………ドアを開いたときのみ点灯
- ③ O F F………ドアの開閉に関係なく消灯

〔L車〕



■カーテシ・ランプ



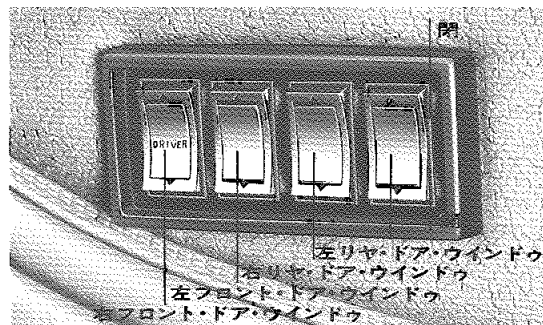
左右ドアの足もとに取りつけてあります。
ドアを開いた時、常に点灯します。

■リヤ・ルーム・ランプ<L車のみ>



スイッチの下部を押すと点灯します。

■パワー・ウインドウ・スイッチ<L車のみ>



ドア・ウインドウ・ガラスはすべてスイッチで開閉できます。

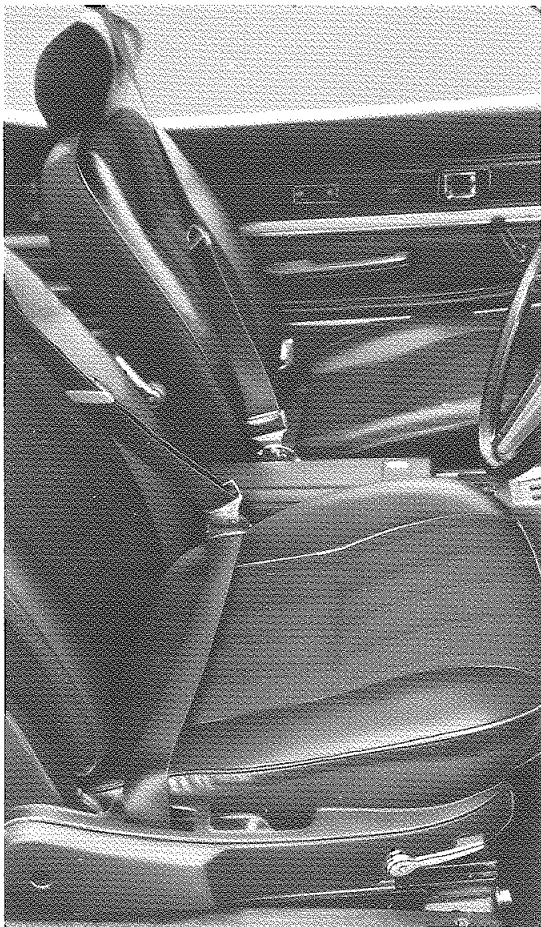
また、運転席には全ドアのウインドウ・ガラスがリモートコントロールできるマスター・スイッチが取り付けられています。

ウインドウの開閉は、エンジン・スイッチがONの場合にしかできません。

正しいドライビング ポジション

■シートの位置を調整しましょう。

フロント・シート



前後位置調整

シート下のレバーを外側に押ししている間、前後に移動できます。

リクライニング調整

シート横のレバーを引き上げると、シート・バックの角度が調整できます。

リヤ席の乗り降りのときは、シート・バックを前にいっぱい倒します。

助手席には、シートの左右にリクライニング調整レバーがあります。

シート・バックをいっぱい前に倒すと、シートを前に押し出すことができます。

シート・バックをもとへもどすと、シートは自動的に少しさがりますが、このとき確実にロックするまで後ろにひいてください。

もとの位置へもどすときは、シート下のレバーで調整してください。

〔シートの位置調整は〕

車を運転する前に行なってください。

車が動いているときの調整は運転姿勢がくずれ危険です。

ペダルを十分に踏むことができ、ゆとりのある位置に調整しましょう。

■ヘッド・レストを正しい位置に



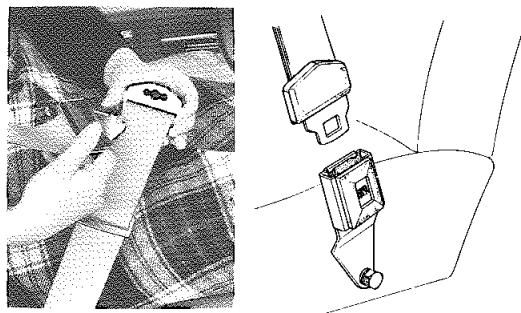
前に押さえるようにして上下させます。
通常は上の位置で使用します。

■セフティ・ベルトを忘れずに

フロント・シート用は標準装備，リヤ・シート用はオプションです。

装着方法

シートを運転しやすい位置に調節しセーフティ・ベルトをいっぱい引き出し、またねじれていないことを確認します。

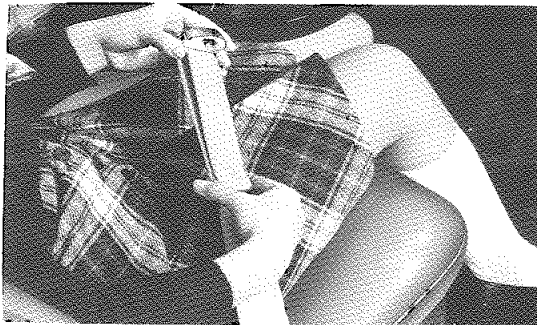


ベルト装着の正しい位置



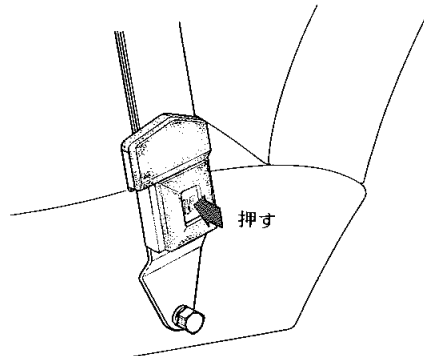
ベルトの調整

〔腰ベルト〕



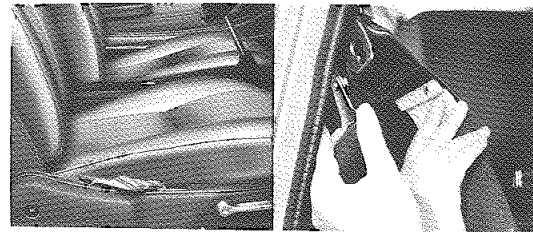
肩ベルトも腰ベルトと同じ要領で調整してください。

取りはずし



腰ベルトは、バックルをドア側へ向けて一度引き、手を離せば自動的に格納されます。

ベルトの格納



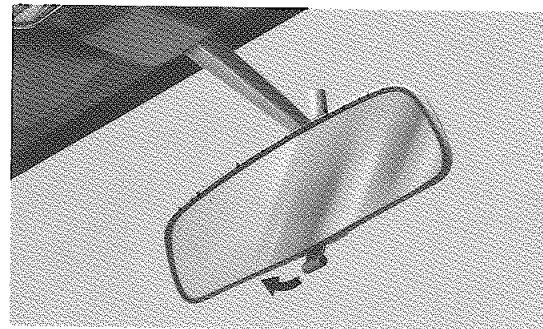
■ミラーの調整をしましょう。

リヤ・ビュー・インサイド・ミラー

リヤ・ビュー・アウトサイド・ミラー

後方視野が十分に確認できる位置に調整しましょう。

■防眩式リヤ・ビュー・インサイド・ミラー



夜間走行の場合、後続車のライトがインサイド・ミラーに写り、まぶしいときに使用します。

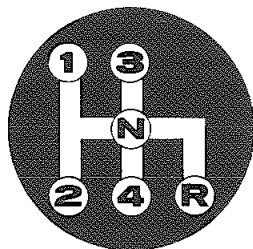
ミラーの下にあるレバーを手前にひくと後続車のライトの反射が弱くなり、後続車も確認でき、安全運転ができます。

防眩が必要なくなったときは、レバーを押してもとの位置にします。

シフトレバーの 各レンジの確認

■マニュアル・トランスミッション

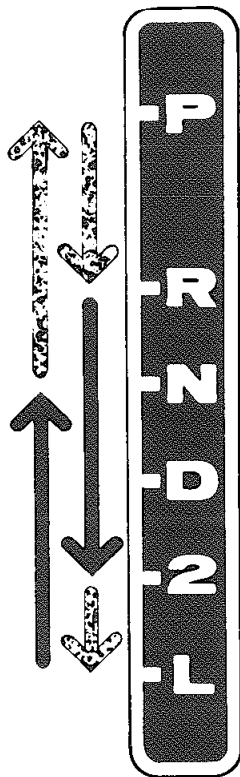
4段フロア・シフト



■オートマチック・トランスミッション 3速フロア・シフト

→ そのまま動かします。

⇄ コントロール・レバー・ボタンを押して動かします。



⒫パーキング・レンジ
駐車するときとエンジンを始動する位置

⒱リバース・レンジ
車をバックさせるときの位置

Ⓔニュートラル・レンジ
エンジンを始動させる位置

Ⓓドライブ・レンジ
通常走行する位置です

Ⓒセカンド・レンジ
エンジン・ブレーキが必要なときに使う位置

Ⓕロー・レンジ
強いエンジン・ブレーキが必要なときに使う位置

〈注意〉

1. エンジンを始動するときは、必ずパーキング・ブレーキを引き⒫またはⒹにしてください。
2. ⒫と⒱へは、必ず車が完全に止まってから、入れてください。
3. 停車中、⒫またはⒹ以外ではエンジンを高回転にしないでください。
4. アクセル・ペダルを踏み込んだまま、⒫からⒹまたは⒱へ切り換えることは危険です。必ずペダルを離してからⒹまたは⒱へ切り換えてください。
5. エンジンを高速回転させながら⒫Ⓓから、Ⓓ②Ⓓまたは⒱にシフトしないでください。寒冷時には⒫かⒹにしてエンジンを十分暖機させ、やむをえず始動直後走行に入る場合でもエンジン回転数をあまりあげないでシフトするようにしてください。

〈運転のしかた〉

- 通常はⒹで発進するとロー・ギヤからスピードによりセカンド・ギヤ、トップ・ギヤにと自動的にかわります。
- マニュアル・トランスミッション車と同様に、Ⓓから発進し、ⒸからⒹへと手動の操作でも運転できます。
- 急坂路をくだるときは、スピードに応じてⒹまたはⒸに入れて、エンジン・ブレーキをかけます。
- 追い越しなどで急加速をしたいときは、アクセル・ペダルをいっぱい踏み込むと、レバーはⒹでも、ギヤはトップからセカンドまたはロー・ギヤに切りかわって急加速ができます。

(キック・ダウン操作)

スイッチ、メーター類について

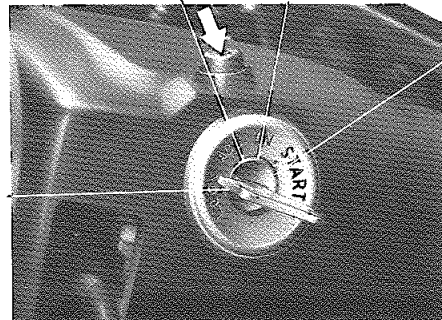
■エンジン・スイッチ

ACC……エンジンを止めたままラジオおよびカー・ステレオの聞ける位置

〈注意〉ラジオおよびカー・ステレオをつけたまま長時間放置しないでください。

プッシュ・ボタン

ON……エンジン運転中の位置



START……エンジンを始動する位置。
手を離せば自動的にONにもどります。

LOCK……キーを抜き差しできる位置。キーを抜くとハンドルがロックされ盗難防止に役立ちます。

〈注意〉キーを抜く時はACCまでキーをまわし、ボタンを押しながらキーをLOCK位置までまわしてキーを引き抜きます。ボタンを押さないとキーはACCからLOCKにまわすことができません。ロックがはずれないときはハンドルを左右にまわしながらエンジン・スイッチをACCの方向にまわすとはずれます。

〔エンジン停止時スイッチは〕

LOCKの位置にしておきましょう。

ONの位置で放置するとバッテリーあがりになります。

〔スターター・モーターは〕

長時間STARTの位置にしないようにしましょう。長時間作動するとバッテリーあがりになります。

〔エンジンがかかっているときキーは〕

STARTの位置にまわさないようにしましょう。STARTの位置にまわすとスターターが無理にかみあい破損します。

〔車両から離れるときキーは〕

LOCKの位置からキーを抜いてください。

キーを抜くとハンドルがロックされ盗難防止に役立ちます。

■チョーク オートマチック・チョーク

キャブレターにはオートマチック・チョークがついています。

- ①エンジンを始動する前にアクセル・ペダルを次のように踏みます。

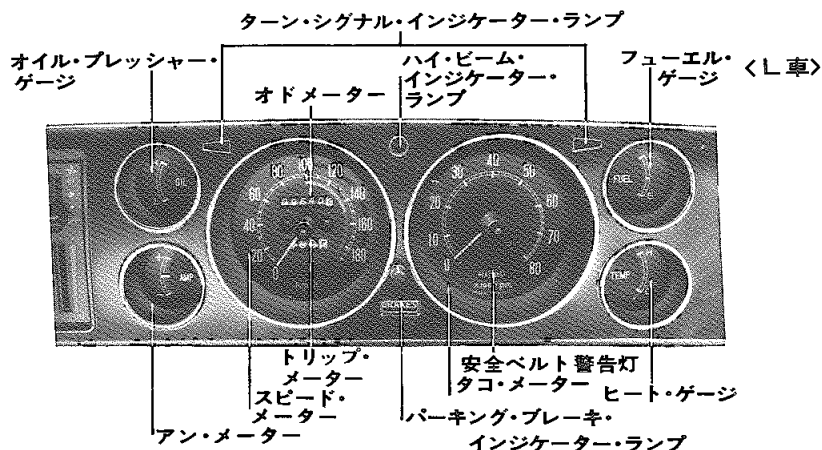
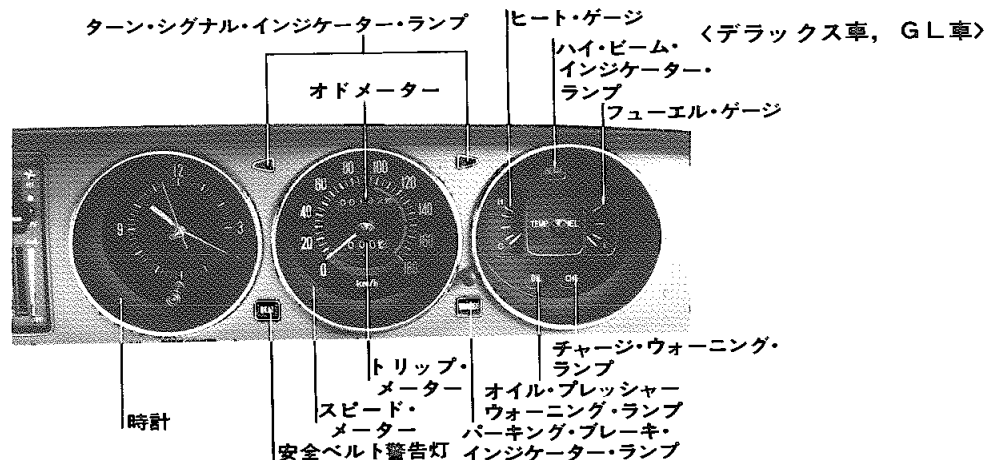
+5℃以上	+5℃～-10℃	-10℃以下
軽く1回	いっぱい1～2回	いっぱい2～3回

- ②アクセル・ペダルから足をはなしエンジンを始動します。
- ③しばらく暖機運転をします。
- ④エンジンが暖まってから再びアクセル・ペダルを踏みます。

（アクセル・ペダルを踏むと、自動チョークがもどりアイドル回転になります。）

- ・キーを抜くとステアリング・ロックが働き、ステアリング操作ができなくなりますので、走行中はキーを絶対にLOCK位置までまわさないでください。
- ・けん引される場合は、キーを一度ON位置までまわしてステアリング・ロックを解除し、その後ACCにもどしてください。

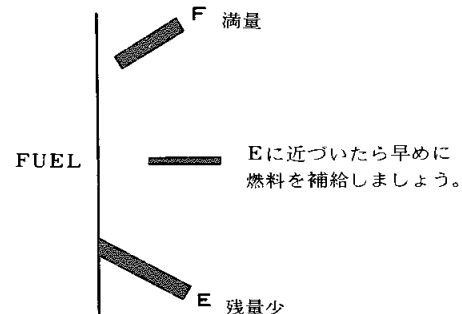
メーター類



■フューエル・ゲージ

エンジン・スイッチがONのときは燃料の残量を示します。

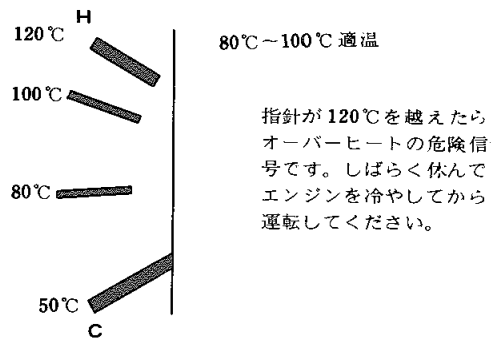
スイッチがその他の位置のときは、指針はEより下の位置にあります。



■ヒート・ゲージ

エンジン・スイッチがONのときに冷却水温を示します。

スイッチがその他の位置のときは、指針はCより下の位置にあります。



■**チャージ・ウォーニング・ランプ**

エンジン運転中、充電系統に異常がある時に点灯する警告ランプです。

正常の時は、エンジン・スイッチをONにすると点灯しますが、エンジンを始動すると消灯します。

■**オイル・プレッシャー・ウォーニング・ランプ**
エンジン運転中、潤滑系統に異常がある時に点灯する警告ランプです。

エンジン・スイッチをONにすると点灯しますが、エンジンを始動すると消灯します。

点灯したままのときはオイル量を調べましょう。それでも点灯しているときはサービス工場へ

■**パーキング・ブレーキ・インジケーター・ランプ**
エンジン・スイッチがONのときパーキング・ブレーキ・レバーを引くとパーキング・ブレーキ・インジケーター・ランプが点灯します。

そのままの状態、フット・ブレーキ・ペダルを踏むと、ブレーキ配管系統に異常がなければ、パーキング・ブレーキ・インジケーター・ランプは消灯します。もし、消灯しない場合は異常が考えられますので、ただちにサービス工場にご連絡ください。

■**ハイ・ビーム・インジケーター・ランプ**

ヘッドランプ・ホーン・インジケーター・ランプ
ヘッドランプがハイビームのとき、ハイビーム・インジケーター・ランプが点灯します。

■**ターン・シグナル・インジケーター・ランプ**
右折または左折のとき、それぞれのターン・シグナル・インジケーター・ランプが点灯します。

■**安全ベルト警告灯**

パーキング・ブレーキ・レバーを引いた状態で、点灯し、セーフティ・ベルトを装着すると消灯します。

■**オド・メーター**

今までに走行した総距離をkmの単位で表わします。白地に黒文字は、100mの単位です。

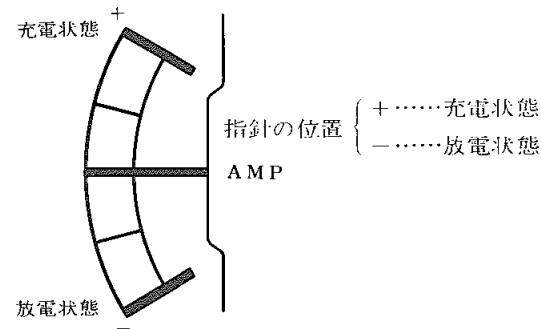
■**トリップ・メーター**

ノブをまわして0にもどすことができます。一定区間の走行距離を知りたいとき0にまわして使用します。

■**タコ・メーター<L車>**

1分間のエンジン回転数を示します。目盛の60以上には、赤色が塗ってありレッド・ゾーンといいます。これは指針がこの範囲にあるときは、エンジンがオーバーランをしていることを示しますので、指針がレッド・ゾーンにはいらないようご注意ください。

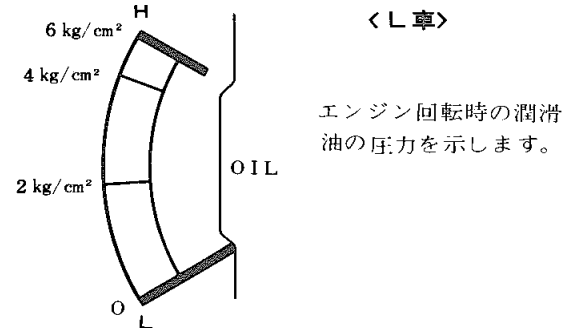
■**アン・メーター<L車のみ>**



昼間の場合はエンジン始動直後、+側に約1/2ほど振れますが走行を続けるうちに徐々にもどり、わ

ずかに+側を指示する状態で静止すれば良好です。エンジン始動後も-側を指示するときは、ヘッドランプ等以外、フォグ・ランプなどの電気の使いすぎか、発電系統の故障と考えられます。ヘッドランプ、フォグ・ランプなどの電気負荷を消してもなお-側を指示するときはサービス工場点検をうけてください。

■**オイル・プレッシャー・ゲージ**



走行中のエンジン回転数に応じて1～6 kg/cm²の範囲内で作動すれば正常です。

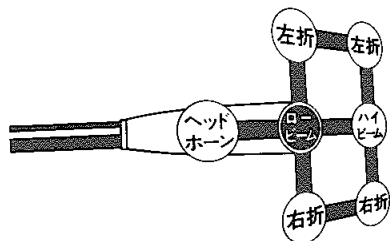
エンジン回転数を上げて1 kg/cm²以上を指示しないときは潤滑系統に異常がありますので、エンジンをただちに止めて、オイル量を点検してください。

もしオイル量が正規であれば、他のところに故障がありますので、ただちにサービス工場点検をうけてください。

■**スピード・メーター**

指針は、車の走っているスピードを示し、約100 km/h以上になると、チャイムが鳴っているとき、指針が振れることがありますが異常ではありません。

■ターン・シグナル・レバー



ターン・シグナル・スイッチとして……

レバーを上にするると<左折>, 下にするると<右折>のターン・シグナル・ランプが点滅します。ハンドルをもとにもどすとレバーは自動的にもどります。

<注意>

ハンドル操作が少ないときスイッチが自動的にもどらない場合があります。このときは手でもどしてください。

ヘッドランプ・ホーン・スイッチとして……

高速道路などで先行車を追い越すときの合図として使います。

ヘッドランプ切り換えスイッチとして……

夜間先行車, 対向車のないときのみハイ・ビームにしてください。

〔夜間対向車または先行車のある場合〕

必ずロー・ビームにして走りましょう。まぶしくて迷惑をかけます。

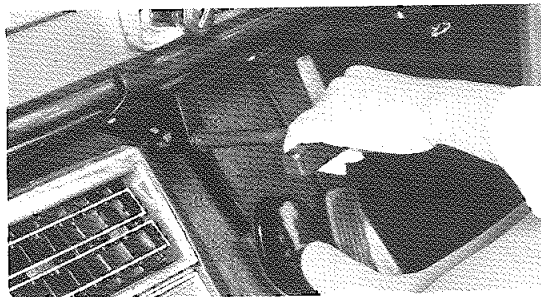
■残光式ヘッドランプ<L車のみ>

ヘッドランプを消したあと, ドアをあけてから, ターン・シグナル・レバーをヘッドランプ・ホーン的位置にすると, ヘッドランプが約20秒間点灯して消えます。

夜間の車庫入れ後の足もとの照明などにご使用ください。

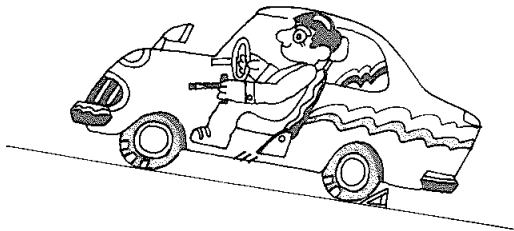
残光式ヘッドランプの操作をした後, すぐ消灯したい場合は, ライトコントロール・スイッチを引き出して, 又, すぐ押しこめばヘッドランプは消灯します。

■パーキング・ブレーキ・レバー



駐車時, いっぱいひっぱって使用します。もどす場合は下に60°まわします。

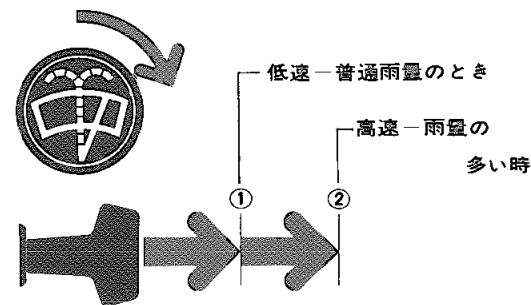
坂路での駐車はパーキング・ブレーキを引いた上, 輪止めを確実にしてください。



■ワイパー&ウォッシャー・スイッチ

エンジン・スイッチがONのときに使えます。

ワイパー・スイッチ



スイッチを切ると, ワイパーは動き始めの位置まできて止まります。

ウォッシャー・スイッチ

ウィンドウ・ウォッシャーはワイパーと連動式になっています。スイッチを右に回すとウォッシャー液が噴射され, 同時にワイパーが数回作動し止まります。

フロント・ウィンドウ・ガラスがよごれているときに使用します。

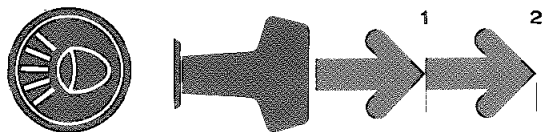
〔ワイパーを使用する前に〕

フロント・ウィンドウ・ガラスの汚れをとりましょう。汚れたまま作動するとガラスに傷がつきます。

〔ウィンドウ・ウォッシャー液がからのときは〕

スイッチをまわさないようにしましょう。まわすとモーターをいためる恐れがあります。

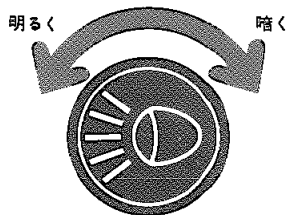
■ライト・コントロール・スイッチ



エンジン・スイッチに関係なくランプがつかます。
①および②の位置でそれぞれ次の○印のランプが点灯します。

灯 火 名	①	②
ヘッド・ランプ		○
スモール・ランプ, テール・ランプ	○	○
ナンバー・プレート・ランプ	○	○
メーター・パイロット・ランプ	○	○

メーター・パイロット・ランプの明るさ調整
<GL車以上>

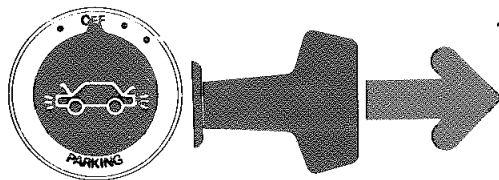


右にいっぱい
まわすと消える。

ライト・コントロール・スイッチを左右にまわすと、メーター・パイロット・ランプの明るさがかわります。

周囲の明るさに応じて調整してください。

■ハザード・ウォーニング&パーキング・スイッチ
ハザード・ウォーニング・スイッチとして



車が故障して緊急路上駐車するとき他車の追突防止のため使用します。

この時、コンビネーション・メーター内のターン・シグナル・インジケーター・ランプ(緑色)が左右とも同時に点滅します。

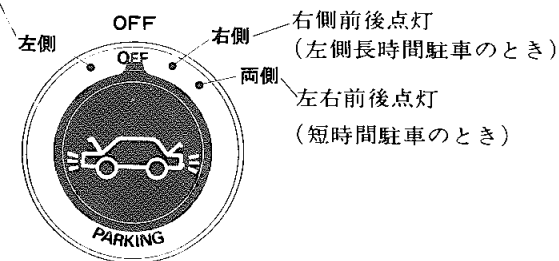
【ハザード・ウォーニング・スイッチは】

非常の場合以外は使わないようにしましょう。
走行中、トンネル内などで使用すると他車の誤解をまねき危険です。

パーキング・スイッチとして

夜間路上駐車時に使用します。
パーキング・ランプが点灯します。

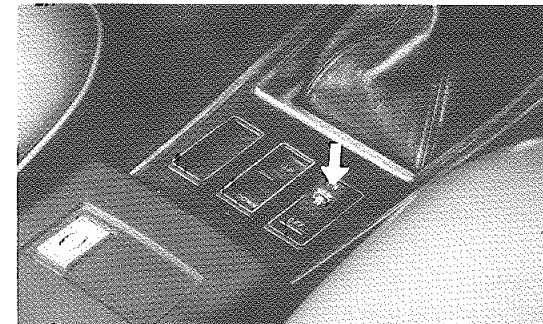
左側前後点灯 (右側長時間駐車するとき)



右側前後点灯
(左側長時間駐車するとき)

左右前後点灯
(短時間駐車するとき)

■リヤ・ウィンドウ・デフォガ・スイッチ
<GL車以上>



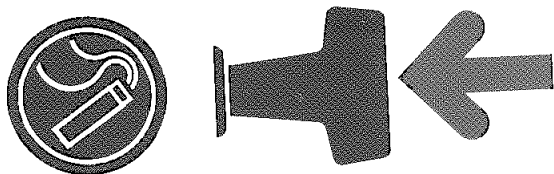
リヤ・ウィンドウが曇ったとき、ガラスの表面を暖めて、曇りをとることができます。

スイッチをONにすると、スイッチ内部の照明ランプが点灯し、作動していることを示します。

<注意>

デフォガは使用電力が大きいので、リヤ・ウィンドウの曇りが消えたらスイッチを切ってください。室内の曇りを取るもので、雨水・雪を乾燥させる能力はありませんので必要以上に使用しないでください。また、スイッチを入れっぱなしにしておくと、バッテリーあがりの原因になりますのでご注意ください。

■シガレット・ライター



シガレット・ライターは、押しこんだらすぐ手を離してとび出すのを待ちましょう。

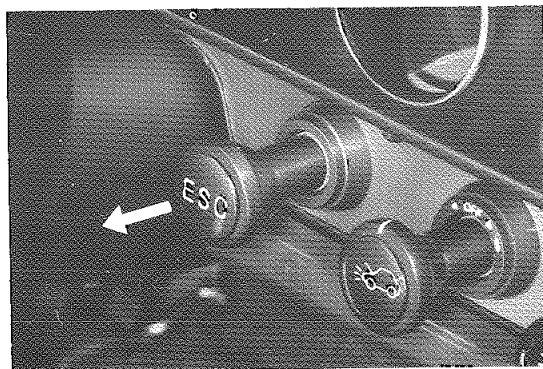
<注意>

押さえつけたまましていると、シガレット・ライターをいためます。

■ESC (電子制御式スキッド防止装置)

<L車オプション仕様>

運転のしかた



<走行前のチェック>

1. エンジン・スイッチをSTARTの位置にするとスタータが回転し、同時に赤色のパーキング・ブレーキ・インジケータ・ランプが点灯します。点灯しなければ電球が切れているのでサービス工場へ連絡してください。
また電球切れはブレーキペダルを踏まずパーキング・ブレーキのみ引いた場合にも点灯するのでチェックできます。
2. エンジンをかけてからブレーキペダルを踏みチェック・スイッチを引っぱると、スイッチノブに埋込まれた緑色のオペレーション・ランプが点滅しエンジン・ルームから作動音が聞こえます。緑色ランプが点滅しない場合はESCに故障が生じていますのでサービス工場へ連絡してください。

3. 以上のチェックをして異常がなければ走行してください。ブレーキを踏めばESCは自動的に作動します。作動時にはオペレーションランプが点滅します。

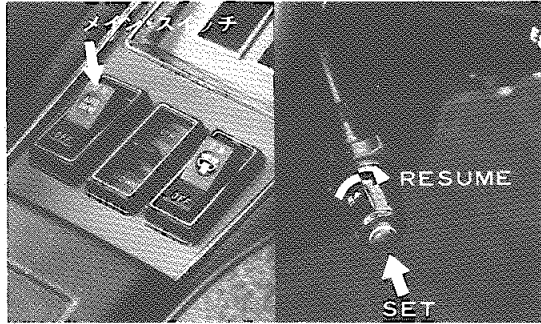
<走行中のチェック>

1. 走行中、赤色のパーキング・ブレーキ・インジケータ・ランプが点灯した場合はESCに故障が生じていますのでサービス工場へ連絡してください。

<注意>

万一、ESCが走行中故障した場合には、普通のブレーキ機構に戻ります。

■ オート・ドライブ<GL車以上オプション>



オート・ドライブとは車速が一定に保たれる装置で、車速が60km/h～120km/hでセットできます。50km/h以下になると自動的に、オート・ドライブは解除されます。

希望速度にセットする時

最初に、コンソール・ボックス上のメイン・スイッチをONにし、希望の車速になったらターン・シグナル・レバーの先端のセット・ボタンを押してアクセル・ペダルを離してください。

セット・ボタンを離した時の速度にセットされます。

オート・ドライブを解除する時、または解除される時

- (1)ブレーキ・ペダルを踏んだ時
- (2)クラッチ・ペダルを踏んだ時

〈マニュアル・トランスミッション車〉

- (3)シフト・レバーをNにした時

〈オートマチック・トランスミッション車〉

- (4)パーキング・ブレーキを引いた時

- (5)メイン・スイッチをOFFにした時

車速変更する時

(1)微増速の場合

セット・ボタンを押してすぐ離すと、もとの車速から+5km/hの範囲内で増速することができます。

(2)微減速の場合

セット・ボタンを押しつづけると、減速されますので、希望の車速になったら、セット・ボタンを離してください。

(3)増速の場合

そのままの状態でもアクセルを踏み、希望の車速になったら、セット・ボタンを押してください。

解除前の設定速度に戻したい時

オート・ドライブ作用時、ブレーキ又はクラッチを作動させてオート・ドライブを解除した後、再びもとの車速にもどしたい時は、車速が60km/h～120km/hの範囲にあるときだけレバーをRESUMEの方向へ回してください。

<注意>

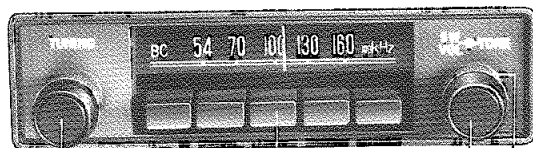
アクセルをいっぱい踏んだ瞬間には、メイン・スイッチをONにしないでください。

運転を楽しく、快適に

■ラジオ

ラジオは、エンジン・スイッチがONかACCのときに聞くことができます。

プッシュ・ボタン式<デラックス車>



選局ダイヤル

選局ボタン

スイッチと
ボリューム

音質調整ダイヤル

[スイッチとアンテナ]

ラジオのスイッチを押すと、電源が入り同時にアンテナが1段とび出します。

もう一度スイッチを押すと電源は切れますが、アンテナは下がりません。

アンテナは、手で長くいっぱい引っ張り出せますが、普通なら1段目で十分です。

<注意>

いっぱい押し込むとロックされ、再びラジオのスイッチをONにしないと飛び出しません。

[選局ボタンのセットのしかた]



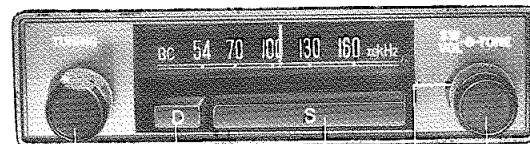
選局ダイヤル
選局ボタン

1. ボタンの一つをいっぱい引き出す。
2. 左側選局ツマミで針を望みの局に合わせる。
3. 引き出したボタンをいっぱい押しこむ。

<注意>

放送局の違う地域へ行ったら選局しなおしてください。

AMサーチ・チューナ式<GL車>



選局ダイヤル

感度切替ボタン

サーチ・ボタン

スイッチと
ボリューム
音質調整ダイヤル

[選局のしかた]

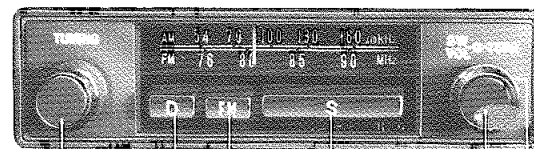
サーチ・ボタンを押すと、指針が自動的に移動し次に開ける局で止まります。

[感度の切替]

山間部などの電波の弱い地域や、遠くの放送電波をキャッチしたいときに、感度切替ボタンを押し込んでください。

もう一度ボタンを押すともとの位置にもどり、近距離の局のみ選局できます。

AM・FMサーチ・チューナ式<L車>



選局ダイヤル

感度切替ボタン

FM・AM切替
ボタン

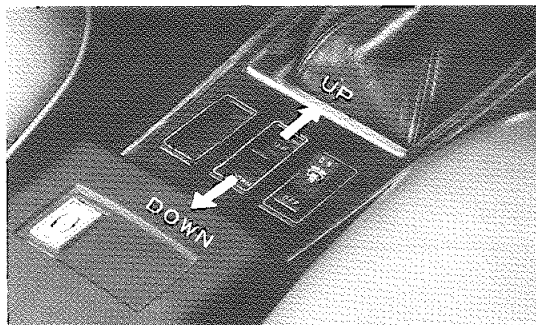
サーチ・ボタン

スイッチと
ボリューム

音質調整ダイヤル

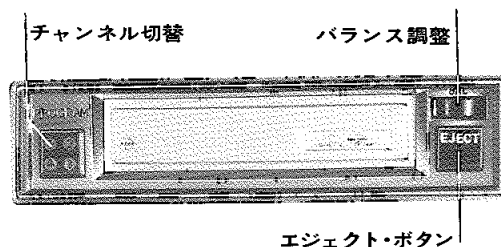
FMボタンを押し込むとFM放送が受信できます。FMボタンをさらに押すとボタンの位置がもとにもどりAM放送受信状態となります。

[スイッチとアンテナ] <GL, L車>



スイッチの前側を押すとアンテナは自動的に上がります。
後側を押すとアンテナは下がります。

■カー・ステレオ<オプション>



[演奏開始]

エンジン・スイッチがONまたはACCのとき使用できます。
カートリッジ・テープをテープ差しこみ口にまっすぐ差しこみます。
自動的にチャンネル・インジケータ・ランプがつき演奏が始まります。

[バランス調整]

音が左右に移動します。
もっとも、ステレオ感のもりあがる位置にこのつまみを調整してください。

[音量調整]

ラジオの音量調整つまみを左右にまわして適当な音量に調整してください。

[音質調整]

ラジオの音質調整つまみを左右にまわしてお好みの音質に調整してください。

[チャンネル切替]

演奏中、他のチャンネルに切替えることができます。

[演奏停止]

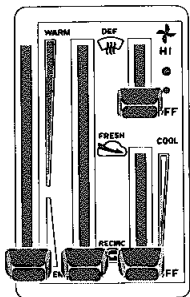
EJECT ボタンを押すとテープが自動的にとび出し演奏はとまり、電源も切れます。

<注意>

カートリッジ・テープの保存はテープが露出しないようにケースに入れ直射日光をさけて保存してください。

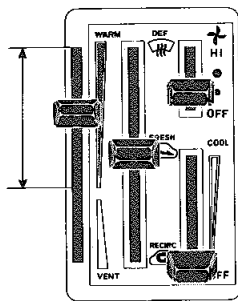
■ ヒーター

ヒーターを使用しない時のレバー位置

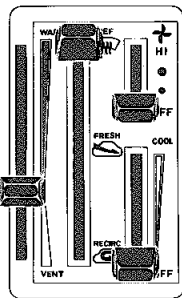


① 温度調整レバー	② 内外切替レバー	③ ファン・スイッチ
WARM 室内暖房	DEF ガラス曇りどめ	HI 強い風
	FRESH 外気導入	● 中間
VENT ベンチレータ	RECIRC 内気循環	・ 弱い風
		OFF 風止

外気による室内暖房(通常のご使用の場合)

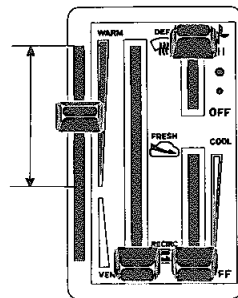


ガラスの曇りどめ(夏期の場合)

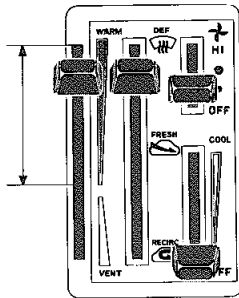


内気による室内暖房

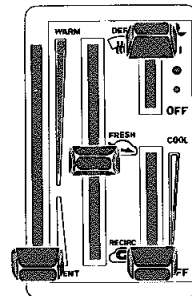
(砂ぼこりや、大気汚染地区でのご使用の場合)



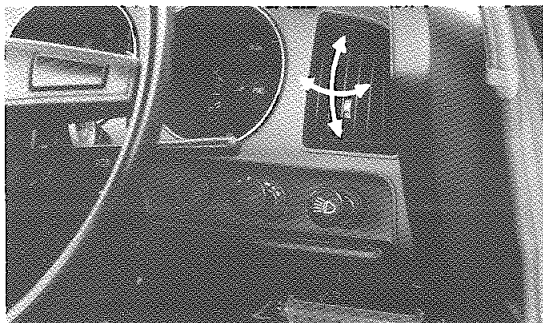
ガラスの曇りどめ(冬期の場合)



ベンチレータ



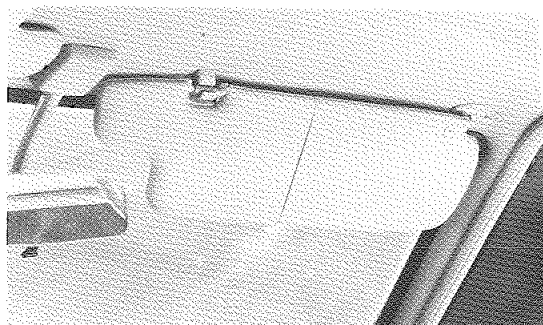
■ベンチレーター



車内の空気を入れかえたいときノブを引いて使用します。

ベンチレーターから新鮮な空気が流れます。また、中央部のルーバーを動かすことにより風向きの調節もできます。

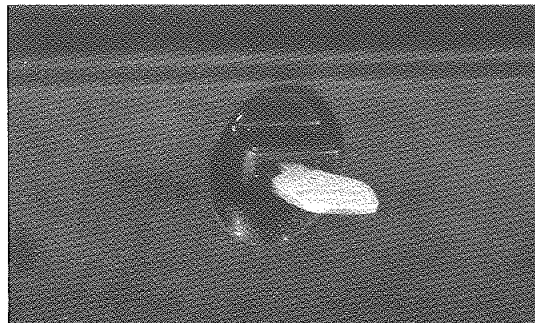
■サン・バイザー



中央部のロックをはずすと、横にまわすことができます。

グローブボックスについて

■グローブ・ボックスを使うときは



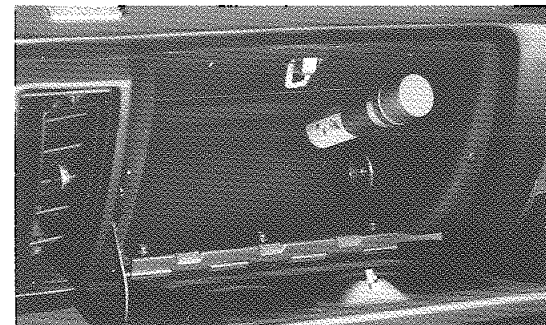
キーで解錠してつまみを左にまわします。また、ライト・コントロール・スイッチがONのときにふたをひらくとボックス内右横のマップ・ランプがつきます。

〈注意〉

グローブ・ボックスの施錠、解錠はマスター・キーでおこないます。

保安炎筒について

■保安炎筒を使うときは



非常事態が発生したときに使用します。使用法は保安炎筒に書いてある説明をよく読んで万々に備えてください。

保安炎筒には有効期限があります。ラベルに明示されていますので確認しておきましょう。

発炎時間は5分間です。

〈注意〉

非常信号用としてのみ、ご使用ください。使用中、筒の先を顔や体に向けたり、近づけたりすると火傷の危険があります。取扱いには十分注意してください。